

第2回 海軍道路の桜並木に関する懇談会

日時：令和3年10月26日（火）10：00～12：00

場所：中屋敷地区センター

議 題

○開会

○議事

- 1 第1回懇談会での主な意見
- 2 現地説明会
- 3 現地説明会を終えての感想、意見交換

○閉会

■配布資料

資料1：第1回懇談会での主な意見

資料2：現地説明会ルート図

資料3：健全度調査結果 現地説明会ルート部分

資料4：海軍道路（本郷二丁目）の街路樹検討の経緯について

参考資料：今後のスケジュールと進め方

既存の桜並木への意見

植栽間隔

- 海軍道路の桜並木は、間隔が狭い。道路のすぐ近くに植えられている。枝を伸ばせず、気の毒な姿になっている。
- C区間（中瀬谷消防出張所から瀬谷中前交差点）の桜は、苗木の時は植栽間隔について気にならなかったが、成長するにつれて疑問に感じていた。車の出入りの際、視界が悪いと意見が出ている。

下枝

- 海軍道路では、トレーラーに積んだ重機が桜にぶつかっている。上瀬谷小学校東側の交差点も、視界が悪く、左折の車と自転車がよくぶつかる。

農地との関係

- 農地に影響が出ているので根が張らないものにしたい。
- 桜並木の下枝もなかなか刈ってもらえず伸びてしまう。農地に草が入ってきてしまうので、苦情がきている。

害虫等との関係、台風等による倒木

- 毛虫が海軍道路に落ちる。消毒はきちんとしてほしい。
- 桜は高いところに枝が伸びるので、カラスが巣をつくってしまう。カラスが畑へ行く経路になってしまい、畑にカラスが増えている。
- 海軍道路のソメイヨシノの台風や害虫等による倒木を危惧している。

既存ヨウコウについて

- 消防署北側の芝生の中にあるヨウコウは、ソメイヨシノと同じ時期に植えたものだが、太くなっていない。植えるならヨウコウの方がいいと思う。
- 瀬谷西高校の東側にヨウコウが植えられているが、生育を考慮した距離がとれているのか疑問。大型化する樹木を街路樹として植えるという植栽方針に疑問を感じている。
- ソメイヨシノとヨウコウの被害の比較で、ヨウコウは植栽年齢は5年程度のうちに被害が出ている。
- A区間はまだ木が若いのに、結構枯れている。この樹種が海軍道路の後継種としてふさわしいのか疑問。

ソメイヨシノへの思い

- 小さい頃から米軍との交流会などで海軍道路の桜並木や海軍広場を使ってきた。印象に残っている場所。桜がどんどん伐採されていることは非常にさみしい。
- 全ての桜を伐採し更地にしてしまうと非常にさみしい。瀬谷は通信施設があったこと、空の青と木の緑のコントラストなど、他の場所の桜並木とは異なった趣があると思っている。
- 桜は印象的で、毎年楽しみにしている名所なので桜がなくなると残念に思う。
- もし桜をなくしたあとで、後の世代にやっぱり桜がよかったといわれると困る。生活に根付いた意見多いが、今までの由来や思いを継承していくことについては重要視されないのだろうか。

方向性について

区間別

- C区間は住宅地があるので、低めの桜か別のものを植栽する。B区画には別の桜を植えてはどうか。
- B区間には立派な桜を植えて桜並木をつくってほしい。C区間は住宅や商店があり、虫の被害と落ち葉掃除が大変なので桜ではないものにしてほしいという意見を聞いている。
- C区間は別のものでもいいと思うが、B区間は桜を残したい。
- C区間は他の樹木がいいと思う。
- 区間別に、桜に限らず、合ったものを選んで植えれば名所になる。
- C区間は別のもの。B区間は桜で品種を変えて4月（学校の入学式の時期）に咲くようにしてあげることが大人の使命である。

先を読む

- 苗木を植えた当時、20年先を見据えなかったことが残念。人間のせいで桜の成長を阻害してしまった。
- 道路のすぐ近くに植えられている桜は枝を伸ばせず、気の毒な姿になっている。

道を明るく

- 海軍道路は夜になると真っ暗なので、上瀬谷小学校に通う子どもたちは通りたがらない。なんとか明るい道で帰らせてあげたい。

その他

街路樹について

- 街路樹に関しては、まず並木をつくることをみんなが賛成しているのか、事務局としては街路樹を整備するのは決定していることなのか、ということ、桜の樹種の議論の前にきちんとしてから議論していきたい。
- 街路樹を残すのか、または残せるものを残して間を空けておくという案なども含めて、区民のアンケートを取るなどして、根幹をきちんと見定めて進めていくべき。

C区間の歩行区間、通学路

- C区間の老朽化した桜の伐採はやむを得ない。それよりも東側の広い歩道幅をキープしてほしい。
- これからたくさん関係者が来て交通量も増える。できるだけ早く桜を切って、安全な通学路を確保してほしい。

桜の樹種

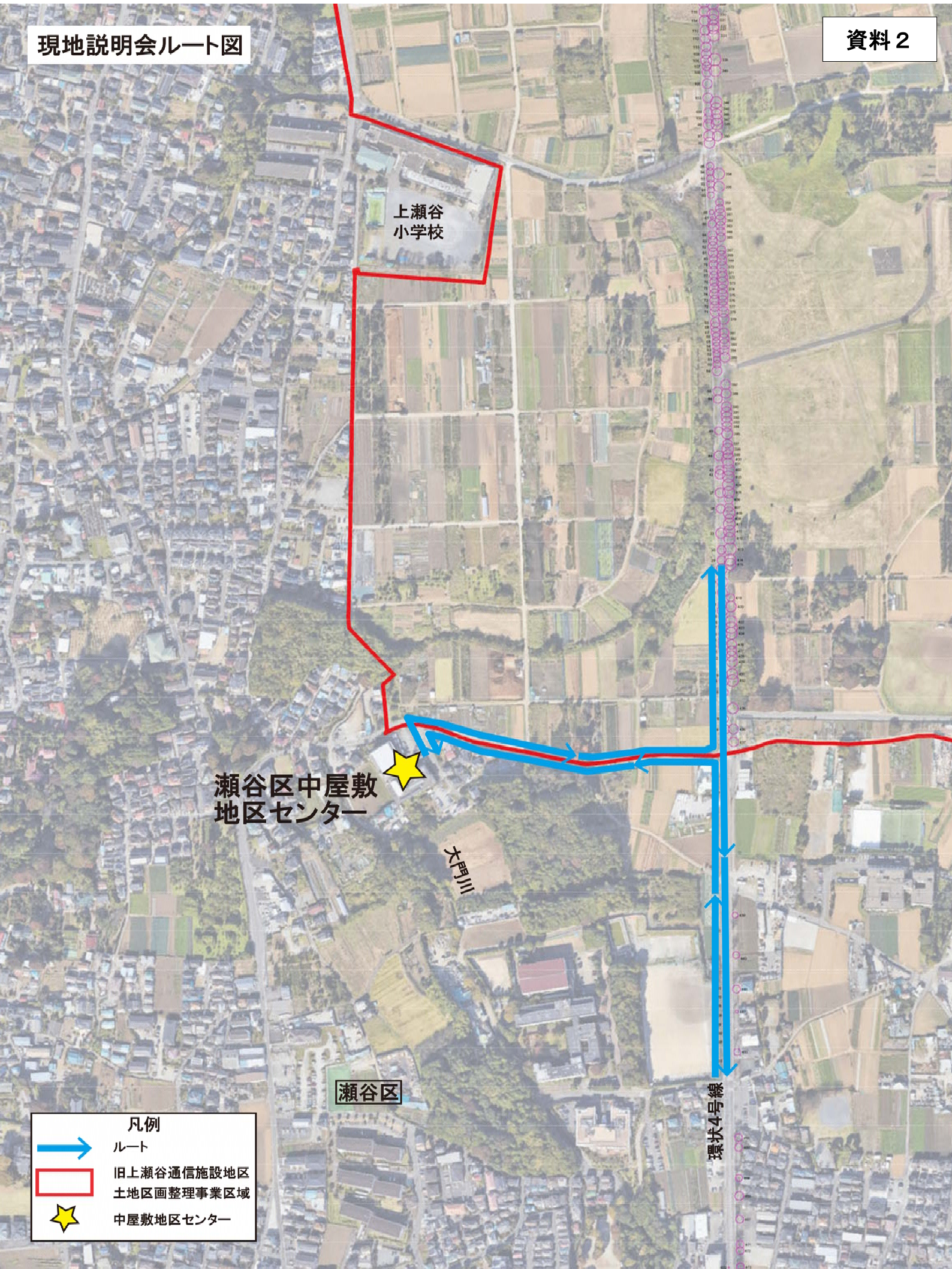
- ヨウコウだとソメイヨシノの淡い色のイメージに対してピンク過ぎる。
- ヨウコウは色が桜らしいと思えない。コシノヒガンサクラやジンダイアケボノの方がソメイヨシノに近い色のように思える。
- ジンダイアケボノとコマツオトメをミックスすると淡い色になるのかも思ったが、根の広がりなどで難しいか。
- B区間はアーチができるような桜並木をつくってほしい。

公園について

- 海軍道路の桜も有名だが、公園の中に桜を植えれば海軍道路に植えなくてもいいのではないかと思う。
- 公園の中に名所に匹敵するような桜並木をつくることは検討されたのか。
- 桜は瀬谷の名物。公園は広いので1000本ぐらいいは植えられるはず。観光客も来て、新しい名所になる。

既存の桜の移植

- 今あるソメイヨシノ全てがもう駄目なのか、残せるものがあるのか。2027年の花博を絡めて、集合体として残せるソメイヨシノがあるならその会場にもっていくという案もあると思う。



上瀬谷
小学校




瀬谷区中屋敷
地区センター

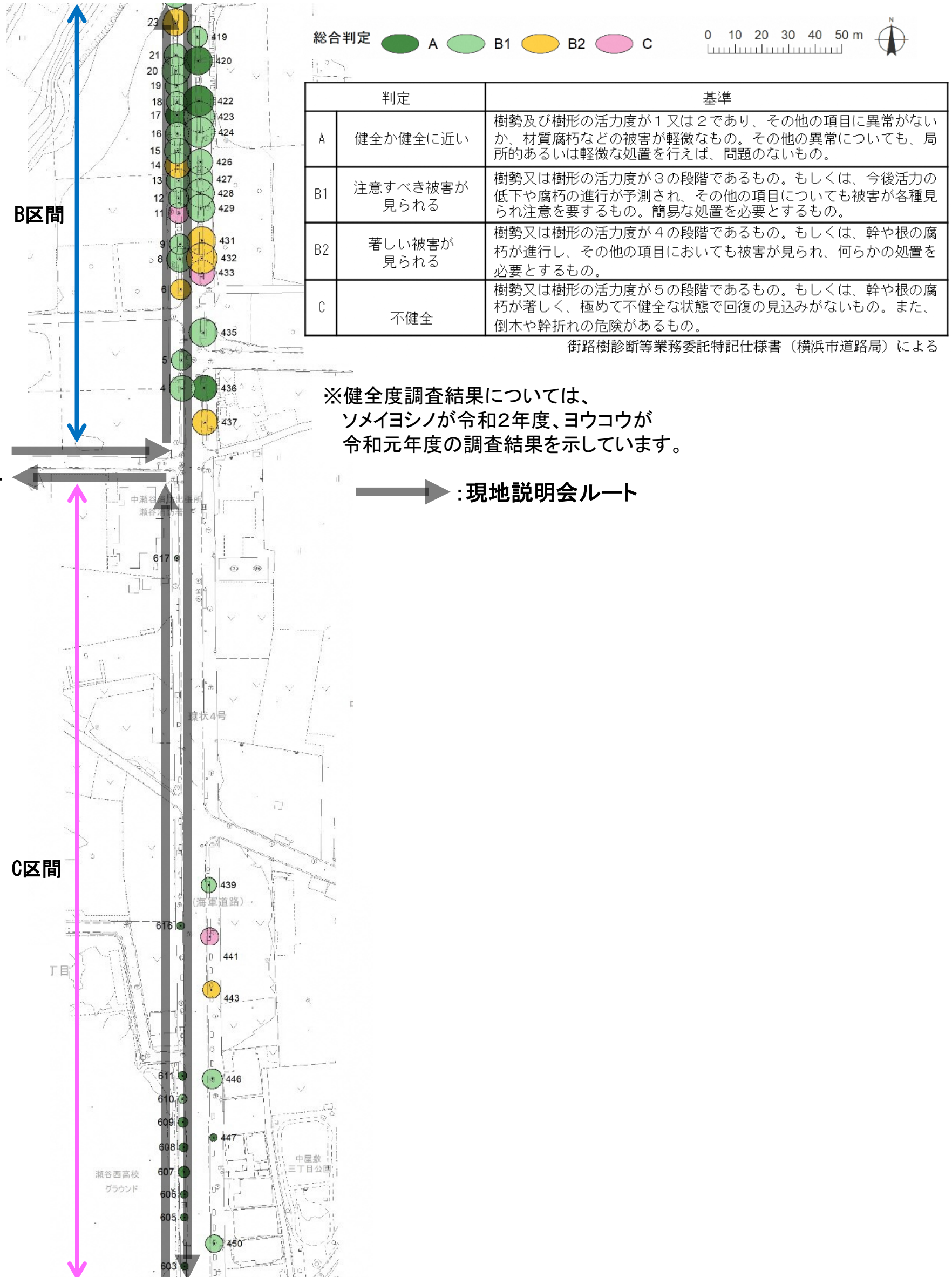
大門川

瀬谷区

環状4号線

凡例

-  ルート
-  旧上瀬谷通信施設地区
土地区画整理事業区域
-  中屋敷地区センター



海軍道路（本郷二丁目）の街路樹検討の経緯について

1 樹種更新が必要な背景

瀬谷土木事務所管内では、街路樹が老木・大木化している道路がいくつかあります。

それらの路線では街路樹間隔が狭かったり、植樹樹のサイズに合わなくなったり、根上りによって通行に支障をきたしたりと、管理上の課題が大きくなっていました。

そこで、平成 25 年から海軍道路（本郷二丁目付近）の桜の更新について、検討を行いました。

2 検討の経過

年 月	事 項	内 容
平成 25 年 4 月	街路樹管理課題について 所内で検討	海軍道路（ソメイヨシノ）、野境道路（ソメイヨシノ）中原街道（ユリノキ）、三ツ境駅北口（ユリノキ）。
平成 26 年 1 月	第 1 回広報（2、3 ページ）	C 区間の桜並木の現状、樹種変更の検討についてお知らせ。
平成 26 年 2 月	第 2 回広報（4、5 ページ）	検討状況報告、更新する樹種候補のお知らせ。
平成 26 年 3 月	第 3 回広報（6 ページ）	更新樹種（ヨウコウ）の決定、逐次 C 区間西側歩道に植樹を進めていく。
平成 26 年 4 月	試験植樹・現地説明会	瀬谷西高校付近にヨウコウを 10 本試験植樹し、現地にて説明会開催。

3 樹種の比較

海軍道路（C 区間）の更新樹種候補については第 2 回広報資料に記載してあるとおりですが、その中から①樹形、②大きさ、③病虫害（に対する抵抗力）、④魅力、⑤市場性の選定条件で比較を行い、ヨウコウを選定し順次更新していくこととしました。

海軍道路街路樹のサクラ並木について検討を始めました

海軍道路にはソメイヨシノが植栽され、横浜の桜名所として親しまれています。北側区間(消防署北側)は両側の桜がトンネルとなり、南側区間(消防署南側)では、東側歩道に桜が植栽され、片側だけが並木となっています。



北側区間 (両側植栽)



南側区間 (片側植栽)

特に、南側区間のソメイヨシノは、既に植栽されて約 40 年が経過し、樹高が高圧電線 (高さ約 10m) をこす大木に生長しています。しかし、ソメイヨシノは比較的生長の早い樹種で、大きくなると様々な問題が生じます。現在では、安全管理のための継続的な剪定により、桜としての樹形維持が年々困難になっており、近年では、ベッコウタケ等の腐朽菌類による影響により風倒危険木も多くなり、伐採処理されて空き植栽枠も増えてきています。

下表は平成 24 年度の街路樹診断(南側区間)の結果で、C 判定の 14 本は既に伐採されており、今後も B 2 判定などの樹勢低下により、本数の減少が想定されます。

A 判定	B 1 判定	B 2 判定	C 判定	合計
健全か健全に近い	注意すべき被害が見られる	著しい被害が見られる	不健全	
3 本 3.2%	38 本 40.4%	39 本 41.5%	14 本 14.9%	94 本 100%

当該区間では西側歩道にも桜の植栽を進め、道路両側を街路樹とすることを検討していますが、ソメイヨシノ以外の桜類から新たな品種で検討します。



【連絡先】 横浜市瀬谷木事務所 道路係 平林、小林 TEL045-364-1105

＜海軍道路南側区間(消防署南側)の現状＞

① 東側歩道では風倒危険木が伐採され、桜の本数が減少しています。



当該区間では、腐朽菌類（ベッコウタケ）での根株腐朽により、台風による風倒被害がありました。平成24年度の街路樹診断でも風倒危険木があり、既に伐採されています（上写真は伐採された事例です）。幹の中心が腐朽し、根系まで腐りが進んでいました。ソメイヨシノは生長が早いため植栽樹に根が充満し根が傷つき、腐朽菌類に感染し易くなります。また、根上りにより歩道舗装が凸凹になることもあります。

② 西側歩道には既存の植栽樹が設置されています。



当該区間では、東側歩道にソメイヨシノが植栽されていますが、西側歩道には灌木のみで片側だけの桜並木になっています。植栽樹の大きさは、東側と同じ標準的な規格(内寸75×210cm)の樹です。既存の樹の大きさでは、将来的にソメイヨシノでは、窮屈になりそうです。道路空間を勘案すると、比較的に大木にならない桜品種を選ぶことが得策です。

海軍道路のサクラ並木・樹種更新を検討しています（第二回広報）

前回（1月8日）お知らせ致しましたように、海軍道路の南側区間（消防署南側）では、西側歩道にも桜の植栽を進め、道路両側を桜並木にする検討を進めています。

植栽する桜品種の検討状況ですが、選定条件を整理するとともに候補樹について検討・調査を行っています。



西側歩道の既存植栽樹の暫定の低木植栽。



片枝となったソメイヨシノ 伐採された根株腐朽による風倒危険木

また、東側歩道では写真のように、現況のソメイヨシノ街路樹は大きくなりすぎ樹形が変形しており、ベッコウダケの発生による腐朽の影響による風倒危険木は伐採が進められています。今後も樹勢低下による本数の減少が想定されます。

現況でも空き植栽樹となっている欠損があり、将来的に全線を同一樹種での転換についても考えていきたいと思えます。

地元の皆様のご理解ご協力をお願い致します。



【連絡先】 横浜市瀬谷木事務所 道路係 平林、小林 Tel045-364-1105

＜海軍道路南側区間(消防署南側)の更新樹種の候補＞

新たな樹種の選定条件

- ① **樹形**：樹形が縦方向に伸び、あまり横に広がらない さかづきがた たまごがた こうらんがた 杯型、卵型、広卵型を選択する。
- ② **大きさ**：街路樹としては比較的成長がおそく、樹冠の大きさを保てる樹種を選択する。
- ③ **病虫害**：腐朽菌類に対して比較的抵抗力があり、枝葉の病害にかかりにくい樹種を選択する。
- ④ **魅力**：瀬谷区のサクラの名所にふさわしい樹種とする。
- ⑤ **市場性**：街路樹としての苗木がそろそろ、市場性のあるものとする。

新たな樹種の候補

	<p>ヨウコウ</p> <p>樹形は広卵型で、アマギヨシノとカンヒザクラの交配種である。ソメイヨシノほど樹高は大きくならず、街路樹としての管理には向いおり、横浜市内数箇所の街路で植栽されている。病虫害に対しては、サクラ類の中では比較的強い。</p> <p>開花は4月上旬で、ソメイヨシノと同時期である。花弁は5枚の一重咲きで、色は淡紅紫色でソメイヨシノよりやや濃い。</p>
	<p>コシノヒガン</p> <p>樹形は広卵型で、エドヒガンとキンキマメザクラの交配種である。ソメイヨシノほど樹高は大きくならず、街路樹としての管理には向いおり、泉区内の「いずみの駅前通り」ではソメイヨシノから同種に樹種転換されている。病虫害に対しては、サクラ類の中では比較的強い。</p> <p>開花は4月中旬で、ソメイヨシノとほぼ同時期である。花弁は5枚の一重咲きで、色は淡いピンク色でソメイヨシノよりやや濃い。</p>
	<p>カンザン</p> <p>樹形は杯型で、オオシマザクラを母樹とする江戸時代からある園芸品種である。樹高はソメイヨシノほどには大きくならない。ソメイヨシノより成長が遅く、街路樹としての人気が高い。病虫害に対しては、サクラ類の中では比較的強い。</p> <p>開花は4月下旬で、遅咲きでソメイヨシノの花が終わった後に咲く。花弁は20～45枚の八重咲きで、色は赤みが強い。</p>

海軍道路のサクラ並木・ヨウコウを新植します（第三回広報）

前回までの2回（1月8日、2月12日）の広報でお知らせ致しましたように、海軍道路の南側区間（消防署南側）では、西側歩道にも桜を植栽し、両側を桜並木にする検討を進めてまいりました。

植栽する桜品種は、①樹形、②大きさ、③病虫害、④魅力、⑤市場性の5つの選定条件で検討した結果「ヨウコウ（陽光）」こうらんがたとしたいと思えます。ヨウコウは、樹形が広卵型でソメイヨシノほど樹高は大きくならず、街路樹としての管理には向いています。サクラ類の中では、比較的病虫害に強いほうです。開花は4月上旬でソメイヨシノとほぼ同時期のため、海軍道路の北側区間（消防署北側）と連続した「お花見」が可能で、桜名所の魅力を維持できます。花弁は5枚の一重咲きで、色は淡紅紫色でソメイヨシノよりやや濃いめで、新しい魅力を海軍道路に加えることとなります。また、西側歩道の植栽を逐次に進めるため、まとまった苗木が確保できる品種です。



ヨウコウの街路樹の例
（大型の花が多数咲き
華やかな樹種です）



消防署南側の西側歩道
（既存植栽樹には暫定的に低木が植栽されています）

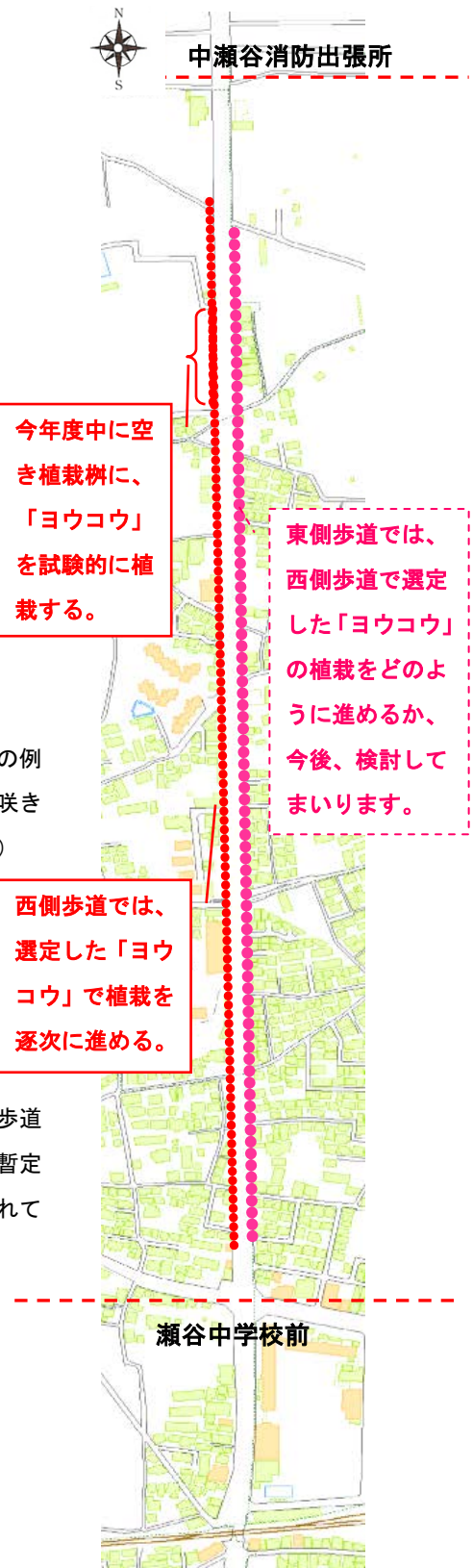
今年度中（3月上旬予定）に瀬谷西高校付近の既存植栽樹に、「ヨウコウ」を試験的に10本程度植栽します。

【現地説明会の実施について】

平成26年4月10日（木）16:00より、新植された現地で、これまでの経緯や今後の植栽整備について、専門家を交えて説明会を行います。

地元の皆様のご理解ご協力をお願い致します。

【連絡先】横浜市瀬谷木事務所 道路係 平林、小林 TEL045-364-1105



	2021年度 (R3)						2022年度～2026年度 (R4) (R8)	2027年度 (R9)	
1 海軍道路の 桜並木に関する懇談会	第1回懇談会 (7月)	第2回懇談会 (現地説明会) (10月)	第3回懇談会 (11月)	第4回懇談会 (12月)	第5回懇談会 (1月)	第6回懇談会 (3月)	令和4年度以降 ・記憶の保全事業 ・整備計画の詳細な検討 等	国際園芸博覧会の開催 令和9年3月から9月	
	懇談会の目的	桜並木の現状・ 問題点等を現地 にて説明	第1回懇談会、 現地説明会での 主な意見	第3回懇談会での 主な意見	第4回懇談会 での主な意見	第5回懇談会 での主な意見			
	桜並木の現 状・課題	桜並木に関する 方向性 (案)の提示	各区間の樹種と 考え方の(案) を提示	第3回懇談会での 意見交換を踏 まえた整備イ メージ(案)の 提示	第4回懇談会 での意見交換 を踏まえた整 備イメージ (修正案)の 提示	桜並木再生等 の整備方針の まとめ			
	今後のスケ ジュール								
2 国際園芸博 覧会	博覧会の開催検討						会場計画 設計等	施設 整備	国際園芸博覧会の開催 令和9年3月から9月
								イベント	
3 (仮称)旧上 瀬谷通信施設 地区土地区画 整理事業 (環状4号拡幅 整備含む)	法手続き・事業計画・設計等						工事		工事

「桜並木再生等の整備方針」の策定